No. 9
昭和42年4月10日発行
発行　富士市役所
富士市伝法南河原3601の24
編集　市長公室秘書課

広報ふじ 1967

全世帯配布

市民の動き
（3月1日現在）

男	84.153
女	82.024
合計	166.177
世帯数	38.326

42年度当初予算きまる

54億600万円

一般・特別・企業会計

富士市議会三月定例会は、三月十三日から二十八日まで、鷹岡公民館で開かれ、昭和四十二年度一般会計三七億七千万円特別会計八億三千八百万円など当局提案の八三議案を本会議、委員会付託で慎重審議のうえ、二十八日いずれも原案どおりで可決しました。

三月十四日には斉藤市長が「明朗、清潔」をモットーに、太陽と緑と空間のある豊かな田園産業都市を造りあげる―政治姿勢と①道路交通行政の推進②都市環境の整備充実③文教施設の整備④農業、中小企業振興対策の確立⑤住宅行政の推進を重点政策とする四十二年度の施設方針をのべました＝関連記事二、三面＝

以下、三月議会で可決された予算の主なものを紹介しましょう。

一般会計 37億7200万円
特別会計 8億3800万円

土木

加島踏切を立体交差に

土木関係では、維持補修工事を一七五四万円で行ないます。新設改良は伝法原田線、西宮島三四軒屋線など一九路線を三五五〇万円で行ないます。舗装工事は西仲町石坂線、助六富士川線など五六路線を六三一六万円で行ないます。河川費二二五四万円は、今泉用水路のしゅんせつ、大川堀水路改修、潤井川改修工事負担金などにあてられています。

都市計画費は四億五六六五万円。弥生線、臨港富士線、富士駅伝法線などの街路改良舗装を二億四六六万円で行ないます。防災街区造成事業は、吉原本町、富士銀座を一九六四万円で実施します。

土地区画整理は富士駅周辺土地区画整理と加島踏切を立体化するための街路整備を一億円で行ないます。

住宅建設は一億二一九〇万円で、石坂団地に四八戸、岩本山団地に四〇戸の市営住宅をつくります。

公園費一六六五万円は、岩本山公園、砂山公園、木の宮公園の整備工事費と用地購入費が主なものです。

教育費には、総額七億一五七一万円が計上されています。

小学校は原田小、富士一小など八校の増改築を行なうための費用二億二七〇七万円が計上されています。中学校は、富士南中に体育館を一五八〇万円で新築します。

社会教育費には二八七八万円が計上されていますが、そのうち主なものでは成人学校の運営に一六三万円、公民館の運営に一五〇四万円、ことしからはじめられる青少年補導センター運営費に七二万円などがとられています。

体育館を現在本庁舎として使用しているためプレハブの仮設体育館を工費三〇〇万円でつくることになりました。

図書館費では、閲覧人口が増加したので巡回自動車を二〇〇万円で購入します。

図書購入費には二〇〇万円が計上されています。

教育

元吉原中にプール建設

プールは、吉永二小に工費四〇〇万円で、元吉原中に一五〇〇万円でそれぞれつくられることになりました。幼稚園関係では田子浦幼稚園を一五〇〇万円で改築します。

社会教育費には二八七八万円が計上されていますが、そのうち主なものでは成人学校の運営に一六三万円、公民館の運営に一五〇四万円、ことしからはじめられる青少年補導センター運営費に七二万円などがとられています。

体育館を現在本庁舎として使用しているためプレハブの仮設体育館を工費三〇〇万円でつくることになりました。

図書館費では、閲覧人口が増加したので巡回自動車を二〇〇万円で購入します。

図書購入費には二〇〇万円が計上されています。

衛生

清掃車（ロードパッカー）を三台購入

健康で明るい生活をおくるうえに病気はなんといっても大敵。この大敵をふせぐため、各種の予防接種費として一三七八万円が計上されています。このほか結核予防に三八七万円、伝染病予防に三三二万円がとられています。

成人病対策には七九万円の予算が計上され、胃の検診を中心に早期発見、早期治療を行なっていきます。母子センターの運営を土台にした母子保健事業には二八三万円があてられています。

吉原地区に市立病院の建設が強く望まれていましたが、今年度は主体施設の設計委託料として一五〇〇万円が計上されました。

医師会が行なう日曜当直医制を全市域に実施するため交付金二〇〇万円がとられています。

清掃関係では、機動力の充実をはかるためロードパッカー三台を五二五万円で購入します。これにより清掃車輌は第一、第二清掃作業所をあわせて二三台になります。

火葬場費二八五万円には火葬炉改修、屋外照明工事費が含まれています。

民生

児童の遊び場を各所に

民生費の総額は三億六四二六万円となっています。

児童福祉費には一億三七九六万円が計上されています。主なものでは知恵おくれの児童を収容する施設、「ふじやま学園」の建設を、昨年に続き工費二二六一万円で行ないますこどもたちが安全に遊べる施設をつくるため本年度から児童遊び場整備事業を始めますが、その予算六〇〇万円も計上されています。市立保育園費六三四一万円は四月から開園した広見保育園、中野保育園を含む一四保育園の運営費が主なものです。鷹岡保育園の改築を工費五〇〇万円で行ないます。

老人福祉費は一六八二万円で、主なものは老人ホーム運営費です。ことしから八〇才以上のお年寄りに、敬老の日に一人一〇〇〇円の敬老金を贈ることになりました。

生活保護費は七〇七六万円です。これは保護世帯二五〇世帯の扶助費が主なものです。

農林水産

野菜の集出荷場建設 富士 原田

農政関係では、野菜指定産地近代化事業として、富士、原田に集出荷場を工費九三四万円で建設します。元吉原地区の農業構造改善事業の調査委託料に八五万円が、丸火に造成する畜産団地の調査委託料に八〇万円がそれぞれ計上されています。

このほか、水稲航空防除に八二万円、土壌病害虫の駆除に一〇〇万円があてられています。

土地改良は一億四八九六万円で、基幹用排水路、防災事業、農地保全などを行ないます。主なものは元吉原農道、一貫地農道などに三八五一万円。元吉原かんがい排水、和田川排水工事に八四六万円。寺の上農道吉原伝法用水などの負担金に三九七六万円となっています。

林業関係は、林道七色石線七〇〇㍍の新設工事を三〇〇万円で行ないます。造林は旧教育植林＝高塚＝の〇・八二ヘクタールに新植するほか丸煙、五ノ神の一三・五ヘクタールに補植を行ないます。また、高塚など二一五ヘクタールの下刈りを二四八万円で行ないます。

商工

中小企業の育成に融資

中小企業を育成するための融資制度（小口資金、年末資金など）を行なうための預託金に五八七四万円が計上されています。これにより、六億円から七億円が中小企業に融資されます。また商店街の美化造成、発明工夫展などの補助に九五〇万があてられています。

観光費三三三万円は、愛鷹山のハイキング、登山コースの整備、港まつりの助成、公園施設の整備などにあてられます。

富士駅南口こ線橋の建設工事が二カ年継続事業で行なわれましたが、その負担金として一一七四万円が計上されています。

公害対策費六七万円は、大気汚染検査費、水質検査費が主なもので、産業の発達にともない発生が予想される公害を防止するために一役買うものです。

富士川工業用水の補助金に三九六万円があてられているほか、地下水利用対策事業の負担金に二五万円があてられています。

消防施設を充実するため、四〇トン入りの防火水槽を八ヵ所に工費五四四万円で築造します。

交通事故は年々多くなってきていますが、現在使用している救急車が老朽してきたため二七〇万円で新鋭車を一台購入します。このため、救急車用の車庫を三三万円で新築します。

消防団数は合併して二四分団となり、団員は約九二〇人となりましたが、第一分団（旧吉原第一分団）と第一三分団（旧富士第一分団）の消防車が年式も古くなり、維持が困難になってきたため、三六〇万円で二台購入することになりました。また、十三分団と一一分団（鵜無ヶ淵）の車庫を新改築するために費用一四〇万円が計上されています。

消防

防火水槽8ヵ所

このほか、さいきん増えてきた化学火災に対応するため防害マスク二八個を購入するほか、シャッター切断機、空気呼吸器二組などの備品が新しく備えられることになりました

総務費には、総額七億九八六一万円が計上されています。

市政を円滑に運営するために新庁舎の早期建設が強く望まれていましたが、本年度は敷地購入費および設計委託料として二億二〇〇〇万円がとられています。新市発足を記念する合併記念公園の設計委託料に一〇〇〇万円がとられています。

交通安全対策費一七五一万円は、歩道新設舗装、道路照明灯設置、交差点などの工事費が主なものです。吉原と鷹岡地区に民間交通指導員の設置、婦人交通指導員の増員なども行なわれます。

市政のおしらせや災害などを周知させる広報無線施設は、吉原地区にはすでに設置してありますが、富士地区、鷹岡地区にないためこの工事費として五四〇万円があてられています。

今年度から住居表示が行なわれますが、第一次計画として費用一一八万円で吉原、富士の中心街一・六平方㌔を実施します。

総務

無線放送新設 富士 鷹岡